第１回の振り返り

地域福祉ってなに

社会福祉制度（制度ごとのサービス）

障がい者 → 障がい福祉サービス

高齢者 → 介護保険

こども → 子育て支援

複合的課題
狭隘のニーズ

生活困窮

社会的孤立

社会情勢の変化

少子高齢化の進展による社会条件の変化
コロナ渦による地域のつながりの希薄化

地域で支えあう機能の低下

困りごとの解決に向けて、ともに助け合う取り組みが求められている
障がいの有無に関わらず、誰もが自分らしく生きられる地域社会を、みんなで協力して作っていく

地域福祉の必要性

みなさんが経験したり感じた課題、困りごと

サービスのミスマッチによる不安

助けてくれる人がなかなかいない

担当したケアマネでサービスが変わる

いろんなサービスを知らない、使ってない

必要な人に必要なサービスが周知されていない

制度の周知の仕方に課題？

困りごとの解決方法

ネットで調べる

認知症の方に、回収日に近所の人がごみを出しておいてね、と声かけ

身近で知っている人だから、ちょっとお手伝い

関わった窓口やケアマネへの相談

助け合いの基盤

自助

互助

共助・公助

支援やサポートする上での課題

困っているかどうかというのが分からない

困っていませんといわれるいやでと、やたらに手を出せない

協力したい気持ちがあっても個人情報もあり、積極的に関与できない

情報共有が必要だが、共有が過ぎると問題

あまり人と関わりたくない、怖いという感覚も

明らかに困っていて使えるサービスはいくらでもあると伝えるが、拒否される

地域の特性もあって引け目を感じて、声をかけづらい

どの方にどれだけ手を差し伸べたらいいのかというのはすごく難しい問題
人と距離を保つ生活も必要で、おせっかいではいけない
悪気がない一言ひとことが相手を傷付けているかもしれない

本人の意向を聞きながらやっていくことが必要

地域福祉は難しい

あなたが考える地域課題（課題シートから）

受け手の課題

障害には個人差があり、個人に合わせたサービスの提供など利用のしやすさが必要
病院等での音のみの案内など、ろう者の目線に立っていない
介護タクシーの費用が高すぎる

制度的な課題

障害を持っている方、家族の孤立、生活の支援、家族の仕事の支援

障害者を支える家族のケアを行う専門機関の設置

必要とする人に必要な支援が与えられる仕組みを考える

ワンストップ窓口対応

担い手の課題

困っている人のこともわからない

何を求めているのかと言うことが分かってあげられないもどかしさ

おせっかいや自己満足だと思い、支援できない

人とのかかわりあいの大切さ

ご近所の人を良く知る

No.1

支援を必要とする人	肢体障害（車いす利用者）

状態	手や足、体を自由に動かすことが難しい状態	影響	高い所にあるものを取るのが大変 階段や段差のある場所に行くのが難しい 長い距離を歩くのが難しい

状況・場面	支援（担い手はだれか／あなたならどうする）	躊躇させるもの（壁）

No.2

支援を必要とする人	視覚障害

状態	目で見ることが難しい、 または全く見えない状態	影響	周りの様子の把握が難しい 情報へのアクセスや移動が困難

状況・場面	支援（担い手はだれか／あなたならどうする）	躊躇させるもの（壁）

支援を必要とする人	聴覚障害

No.3

状態	耳が聞こえにくい、 または全く聞こえない状態	影響	人の話を聞き取るのが難しい 音楽や警報音が聞こえにくい コミュニケーションに手話や筆談が必要

状況・場面	支援（担い手はだれか／あなたならどうする）	躊躇させるもの（壁）

No.4

支援を必要とする人	音声言語障害

状態	話すことや言葉を理解することが難しい状態	影響	声を出すのが難しい 言葉がはっきり言えない 人の話を理解するのが難しい

状況・場面	支援（担い手はだれか／あなたならどうする）	躊躇させるもの（壁）

No.5

支援を必要とする人	内部機能障害

状態	心臓や肺、腎臓（じんぞう）、膀胱（ぼうこう）など体の中にある大切な器官（きかん）が上手く働かない状態	影響	疲れやすい 食べ物に気を付ける必要がある トイレに行く回数が多い 見た目ではわかりにくい

状況・場面	支援（担い手はだれか／あなたならどうする）	躊躇させるもの（壁）

No.6

支援を必要とする人	知的障害

状態	物事を理解したり、新しいことを覚えたりするのに時間がかかる状態	影響	複雑な説明を理解するのが難しい 一人で買い物や外出をするのが大変 時間の管理や計画を立てるのが苦手

状況・場面	支援（担い手はだれか／あなたならどうする）	躊躇させるもの（壁）

支援を必要とする人	精神障害

No.7

状態	心の健康に問題があり、日常生活に影響が出る状態	影響	気分の変動が大きく、安定しないことがある ストレスに弱く、疲れやすい 人と接するのが苦手になることがある

状況・場面	支援（担い手はだれか／あなたならどうする）	躊躇させるもの（壁）

No.8

支援を必要とする人	発達障害

状態	脳の働きが少し違っていて、特定の分野で困難を感じる状態	影響	人とのコミュニケーションが難しいことがある 急な予定変更に対応するのが苦手 特定の音や光、触感に敏感なことがある

状況・場面	支援（担い手はだれか／あなたならどうする）	躊躇させるもの（壁）

1回目のワークショップの振り返り

B班：前橋市の子どもと子育て：気になる課題（暫定意見）

～第一回ワークショップからの発言と、提出された課題シートから抜粋～

課題の中心は「人」や人と人との関係

【人と人の人間関係、人と社会の関係の希薄さ】

・引きこもりの子どもたち等を芸術鑑賞等の社会活動に誘う際の壁がある
・子どもの周りの地域の人間関係の希薄さ、きゅうくつさ
・共働き、核家族が増え、地域イベントに参加せず地域の人間関係が希薄に
・子どもどうしのつながりが少ない（習い事・近所同士の関係が希薄）
・子どもと高齢者、障害者、ひきこもりの子が交流できる機会の少なさ
・古くから住んでいる人と新しく住み始めた人との交流が少ない
・地域のイベントや活動への積極的参加がない
・近所に住んでいるヒトとの交流が少ない
・社会全体で子育てができていない

【親の重い負担と表に出にくい孤立】

・支援が必要、悩みがあっても大きな声を出しにくい、声をあげやすくする仕組みが必要
・個人情報も気になり、気になることがってもおせっかいな声を出しにくい
・おせっかいが少なくなり、無関心な社会に
・世代間で生活困難社などが相談できる場がない（情報がない）

【子どもの健全な心の育成の必要性】

子どもと親を取り巻く、環境の重要性

【子どもたちが安心して遊び生活できる環境が少ない】

・夕方のまちの薄暗さ、集まりやすい場所としての公園の活用
・不審者や犯罪等の治安不安があり安心して遊ばすことができない生活環境、死角の多さ
・通学路や道路の雑草、ごみ収集時の散乱ゴミ等による危険

・学童が足りていない、夏休みは預け先がない
・放課後の見守りの必要性
・子どものスマホ所有の是非

【経済的な不安で余裕のない家庭】

・経済的な支援を必要とする家庭

・父親が働かないと生計が成り立たない家庭の子育て参加の難しさ

・経済的理由からも仕事優先で子育てや行事参加がままならない親

【働く環境や就労の課題】

・育児休暇が十分とれない職場事情

・父親の子育て参加機会が少ない

・お父さん目線の子育てへの考え方が見えにくい

仕組みが問題？　仕組みで解決できる？

【支援する側と、される側、双方向の仕組みがない】

・支援を必要としている人たちがどういう人たちかわからない

・困っている人を一方的に支援するのではなく、全員で助け合う WINWIN の仕組み

・課題を解決できる人や組織は存在するが、支援を必要とする人の状況を知る機会がない。

・支援を必要とする人と支援する人の間に壁がたくさんある。

・支援し合えるマッチングのシステムが必要

・強制的ではなく、有志を募る、こども食堂や交通当番などの支援の仕方が理想的

・低予算で有益な成果が出る施策を考えるべき

・助け合いと責任のあり方についても考えるべき

【情報が必要な人に届いていない】

・初産時、情報が足りないことによる不安や焦り

・前橋市に YouTube とか X とか活用し、積極的に困っている人に発信してほしい

・SNS の普及で、前橋市の HP から深く調べようとする人が減った

・前橋市が提供している情報は HP 奥深くアクセスしにくくたどり着けない

・市が立案している地域福祉計画は網羅的に考えてあり市民にアピールすることが大事

【政治の自分ごと化ができていない】

・18 歳を迎えた子どもたちの投票率の低さ

追加：Liqlid 投稿から

・不登校や学習障害など、学校に行けない、なじめない子は将来どうやって生活していったらいいのか？

以上

1回目のワークショップの振り返り

B班：前橋市の子どもと子育て

課題に対し手を差し伸べることのできる担い手や組織（暫定意見）

- 市
- 市議会議員
- 社会福祉協議会
- 警察

- 自治会
- 民生委員

- 学校
- 先生
- PTA
- 児童クラブ

- LINEグループ
- ボランティアグループ
- 企業、働き先

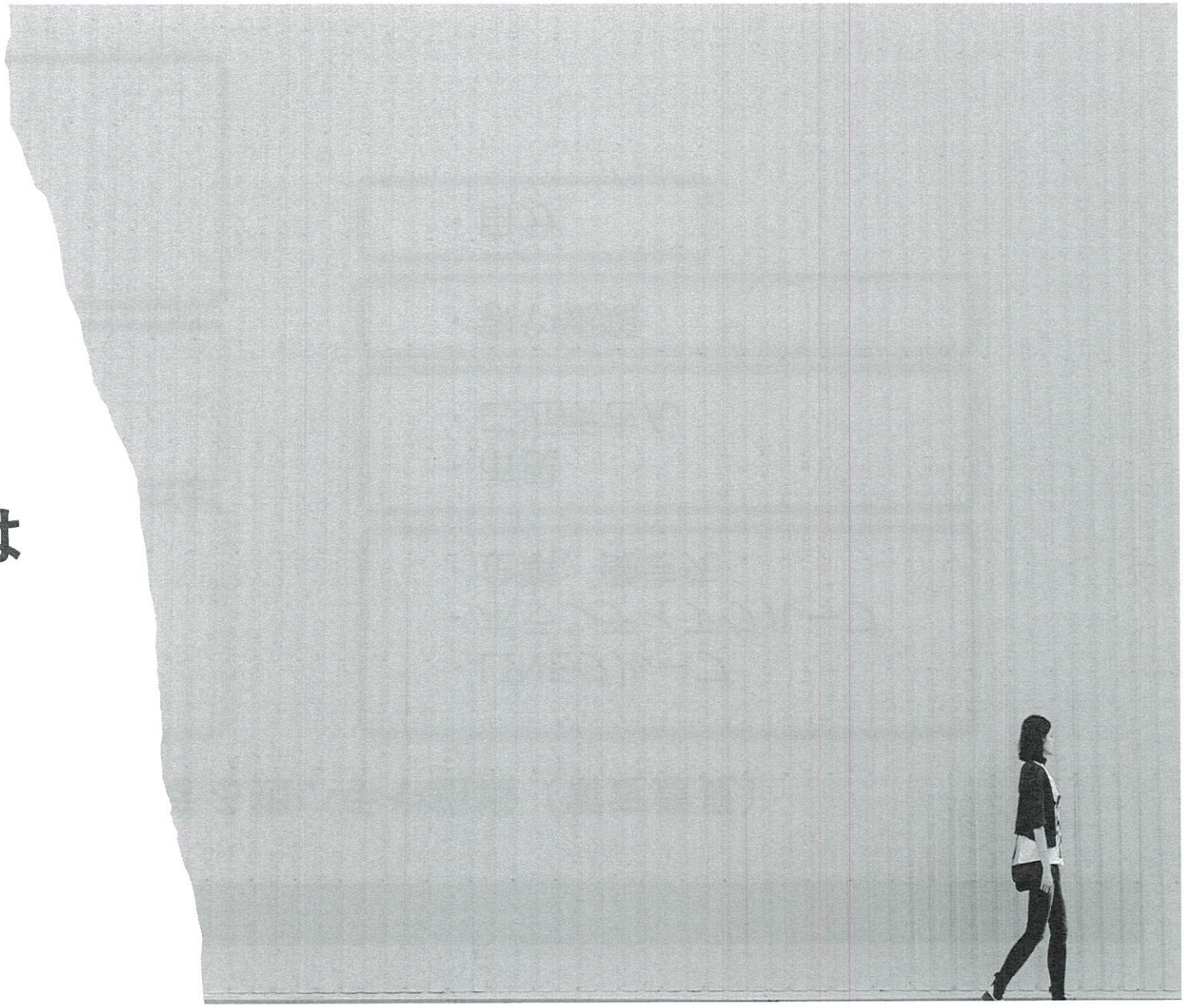
- 市民
- ご近所さん

- 親や親類

- 自分

2回目の議論：

そこにある壁は
どんな壁？



前橋市の高齢者が抱えている課題とは何か？

生活基盤

- **交通・移動手段**
- 経済状況
- 情報

健 康

- **医療**
- **介護**

社会参加・いきがい

- **地域**
- 人間関係
- 趣味

生活基盤

交通

免許証の返納

交通手段が限られると自分自身を制限される

バスの本数が少ない、バスに乗れない(乗り方が分からない、他の人に迷惑をかけてしまう)

経済

お金の困り事

（収入減の確保、詐欺被害）

働き方（働かざるを得ない）

情報

ネット社会への対応

広報などの市政情報（情報整理の仕方、読みやすい形式）

健　康

構想日本

医療

医師・看護師不足

身寄りのない高齢者

独居老人

介護

介護士不足

介護する側、される側の双方の負担軽減

社会参加・生きがい

構想日本

地域

地域イベントがなくなる

交流の機会が少ない

地域や行政のかかわり方（社協や自治会など）

人間関係

身寄りのない高齢者

独居老人

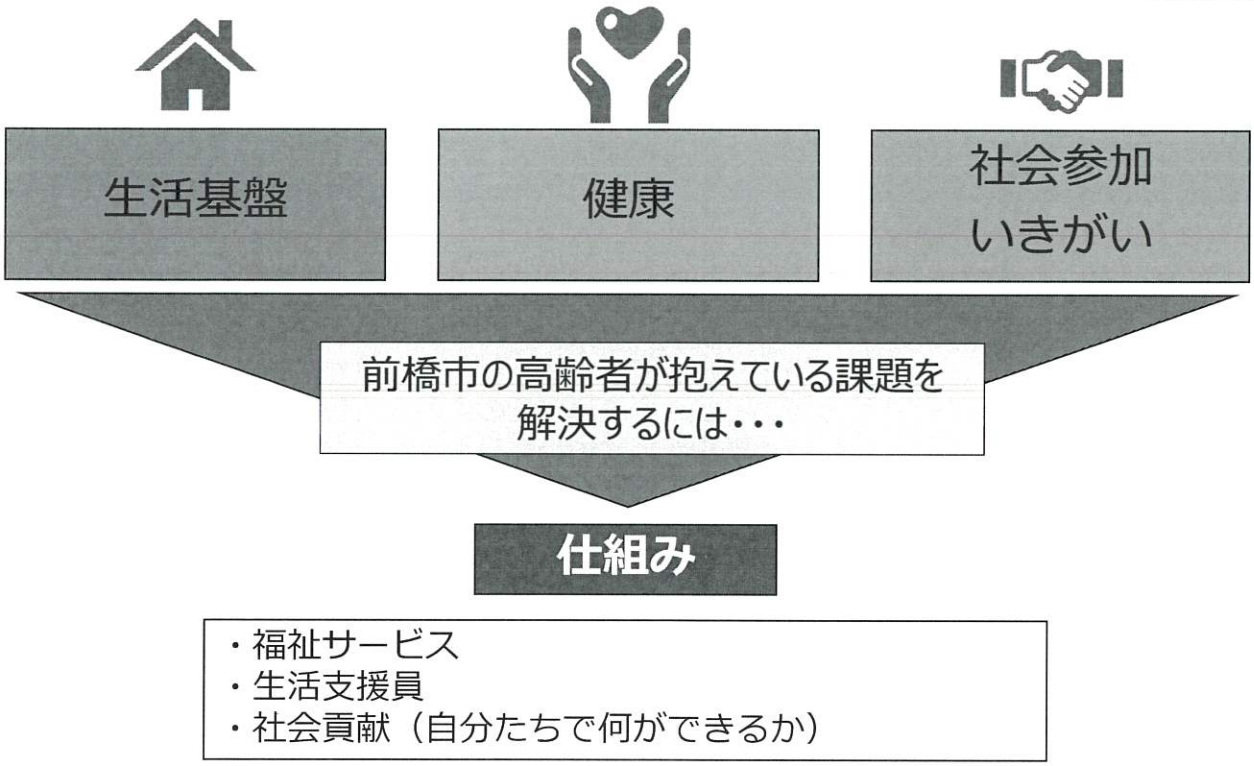
高齢者に関わる人

趣味

趣味づくり

いきがい作り

入口となるイベント



課題シートへの記入事項（まとめ）

構想日本

生活基盤

分類	主な意見
交通、移動手段 免許返納	・免許返納に伴って買い物難民、医療機関受診に不便を感じる声が多数聞かれるため。 ・交通の便がなくなれば、必要な場所・行きたい場所にたどり着けない。自然と生活が制限されていく。 ・利便性を向上させるにはバスの本数を増やし、民間バスだけでなくスクールバスなどを活用する。 ・免許返納後生活していくことを考えると高齢者の周りの人のサポートが必要という状況である。バス停の数を増やしたり、金銭的にも問題が生じない交通手段を考えるべき。
情報 ネット社会への 対応	・必要な人に必要な情報が行き渡ればサービスの利用者が増える。そもそも存在を知らなければ利用できない。 ・きれいにまとまったHPはあるが、それをどう広めていくかが課題。正直初めて知ったサービスが多かった。

健康

分類	主な意見
介　護	・健康で体が動くうちは心配ないのですが、やはり家族や地域の人々にお世話になることは分かっているだけにとても不安 ・人材不足が解消されることのない中で、親等の介護をいかにやっていくか。介護者がその人の人生を犠牲にすることなくやっていける継続的な仕組み作りが必要。母の介護をしていて市のサービスなどで大変助けられた。 ・高齢者が増加しているにも関わらず、医療従事者や介護士の人手不足が発生しているので、十分なサポートを受けられない人が多く存在しているから。どのような立場な人でも、安心してサポートを受けられるような環境づくりが必要

課題シートへの記入事項（まとめ）
構想日本

社会参加・生きがい

分類	主な意見
地域イベント	・地域でのイベントが少なくなってきていることで、高齢者の楽しみが少なくなってきている。
外　出	・高齢者がひとりで出来る事が少なくなってきて、生活に支障が出る。 ・生活の中ですべてのことと言っていいほど、ネットの中での生活になっている。食事に出てもすべて席上のパソコン（小型のもの）でやり方が分からず、店員さんに聞くことが多く、そういう意味では出かけたり、外食したりが遠のいてしまう。

課題シートへの記入事項（まとめ）

構想日本

仕組み

分類	主な意見
必要な方にしっかり届くサービス	・高齢者個々人の困り事が表に出しにくい。サービスや情報はあっても、そこにアプローチできない、または困っている声を挙げられない高齢者が多くいる。 ・必要な人に寄り添った福祉サービスが必要。サービスの情報が分からず、困っている人もいる。 ・広報が配られていてもなかなか読まれない現状があり、どのような情報整理が行われれば前橋市が提供するサービスが支援を必要とする方に届くのか。 ・高齢者の方は自分から必要な情報を取りに行くことが難しい。

Liqlidで投稿された意見

構想日本

分類	意見
健康（医療）	・人生の最後を住み慣れた自宅で迎えたい。しかし、現実的には病院や施設で亡くなることが多い。 ・例えば歴史的に医療のまちとして発展してきた東京多摩地区の某市は、ホスピス・緩和ケア(外来含む)の啓発活動に取り組むホスピスタウンとしても知られているようです。参考にさせていただくのもありかと思います。
健康（医療）	・高齢者福祉は医療と福祉の連携が課題と感じる。その点で前橋市は医療機関は多そうであるし、大学病院もあるので、そのポテンシャルを活かせると良いと思う。
社会参加・生きがい	・時間のあるお年寄りに子供の面倒を見てもらうような地域のマッチングサービスがあれば、お年寄りの孤独と核家族の子育て課題が両方解決できるか？運用には課題は多いと思うが…。

地域福祉計画 ▶ 「みんなが幸せ感じられる前橋市を力を合わせてつくろう」プロジェクト

- 法律で地方自治体が作らなければならないと決められているもの（社会福祉法）
- 地域の福祉課題に対応し、住民の福祉向上を図るための重要な指針を示す

地方自治体は地域の事務屋

- 「公共の福祉」などを目的とする事務集団
- 「地方自治」するために地域を区切って設立

住民自治・市民自治

- 「地方自治」は住民の意思に基づいて行われる（人権・民主主義）
- 政策決定過程に市民が参加する
- 共同意識のもと、地域社会をつくっていく

福祉＝幸せ

- 公共＝「みんな」、福祉＝「幸せ」・「幸福」
- 転じて生活の安定や充足に関わること全般

目的と私たちの役割

- 目的「みんなが幸せに生活できること」
- そのための人づくり・仕組みづくり・環境づくりの指針をつくる
- “お上”に勝手に作らせず、みんなの想いをもとにしてつくる

話し合うテーマと集まる人

市民アンケートからテーマ選定

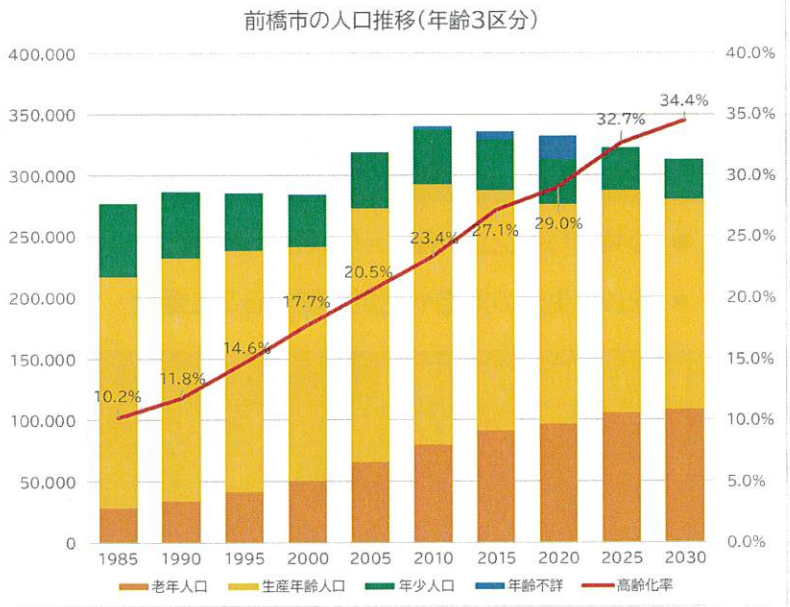
- 「地域福祉」という巨大な主題から、重要視されている3ジャンルを選定
- 障害者、子ども子育て、高齢者

集まる人は「無作為抽出」

- ランダムサンプリング→多様でなるべく公平
- 政治、行政、地域活動と接点の少なかった人に参画機会を創出
- サイレントマジョリティの見える化

**テーマに関する地域社会の現状を知り、
ありたい姿を描き、
間にある壁を壊す方法をみんなで探る**

現状1　少子高齢化の実態



出典　2020年以前：国勢調査（2000年までは旧前橋市）
2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所の推測値

人口統計・推計データ

2020年時点の人口 332,149人

- 0～14歳　41,961人（11.1%）
- 15～64歳　179,561人（54.1%）
- 65歳以上　91,143人（29.0%）

読み取れること

- 稼ぎ頭＆地域の担い手の中心世代は市民の約半分（半分以下？）
- 子どもが少なく、増える見込みも薄い

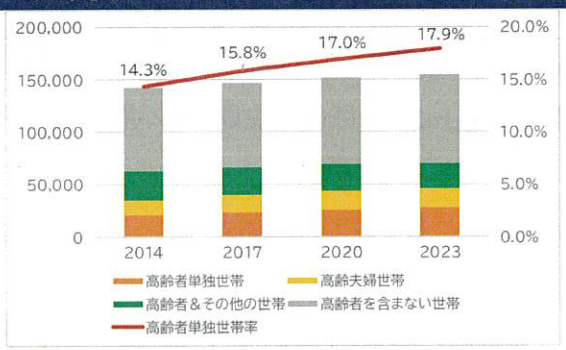
従来の仕組みとやり方では
お金も担い手も不足する
（年金・税金・介護・医療・社会保障）

現状2　単なる増加ではない

要介護（要支援）認定者推移

出典　第9期まえばしスマイルプラン
「認定者数及び認定率の推移」

一人暮らし高齢者世帯推移



出典　第9期まえばしスマイルプラン
「本市の世帯数と高齢者を含む世帯の割合」

助けを必要としている人が増加しており、
かつ一番身近な支援者である「家族」の手助けは
得にくくなってきている

手遅れになる前に、今動く必要がある

「私たちにできること」から始めて、周囲の力を借りながら乗り越える

少子高齢化

要介護者の増加

担い手不足

課題
壁

私たちが幸せに暮らせる前橋

この場でやっていくこと

1 現状の洗い出し

- 困っている人は誰？
- 中でも重点的にサポートすべき人は？
- その人はどんなところ（どんな環境）にいる？

2 ありたい姿の明確化

- 困っている人を、どんなところに連れていきたい？
- 何をしていたら幸せ？

3 課題の明確化

- 困りごとの本質は？
- 今あるサポートのどこが不十分？
- どんなツール（取組み・仕組み）が足りない？

4 解決方法の提示

- 私にはこんな手助けができる
- 何人か集まればもっとこんなこともできる
- そのためには、こういう仕組みやルールが必要だ

前回のハイライト

交通・移動手段

- 運転免許返納後の移動手段が少ない。交通インフラが行き届いていない。
- 交通手段の充実、既存のバス・タクシー利用促進策が必要。

医療・介護

- 医療や介護の現場では人材が不足。
- 身寄りのない高齢者への支援策が必要。
- 医療機関へのアクセスも重要な問題。

孤立

- 孤立する高齢者への支援が必要。
- 一人暮らし⇔地域のつながり強化策は無いか。

デジタルディバイド・情報伝達

- 社会全体でDX(利便性向上・効率化)が進んでおり、行政サービスもオンライン化が進む。
- しかし流れが速すぎて、取り残される危険性をはらむ。
- 高齢者が利用しやすいサービス、情報伝達手段が必要。

生きがい・趣味

- 趣味や地域交流を通じた生きがいづくりの場が必要。

社会全体の意識

- 高齢者支援は社会問題。
- 地域全体で支援策の共有が必要。

前回のキーワード

■自分を制限されている

- 問題のある現状に置かれている「人」の状況・気持ち
- 前回意見を一言で例えるならこの言葉ではないか

逆説的に、ありたい姿は「自分を制限されない」と言えるのでは？

■ 適切なバラマキ

- 社会的構造や仕組みの「ありたい姿」を表現した言葉
- 「適切さ」と「ばら撒く中身」を考えることが鍵になる

これをさらに言い換えると現状とありたい姿の概念になるのでは？

考え方イメージ

自分を制限されない・適切なバラマキ

人的問題と対策

仕組み・環境的問題と対策

自分を制限されている・不適切なバラマキ

今日の進め方

前回の意見から、より本質を深堀りする

交通・移動手段

医療・介護

孤立

デジタルディバイド・情報伝達

生きがい・趣味

社会全体の意識

- 中でも手助けしたいのは誰？
- 特に重要だと思うのは、どれ？